

まほらいな市民大学の様子

令和4年7月15日（金）

『伊澤修二入門 パート2』

講師 上伊那教育会 郷土研究室専門幹事 塚田 博之 氏



昨年に引き続いて『伊澤修二入門講座パート2』と題して、塚田 博之 氏より講演がありました。

伊澤修二の30代までの足跡を8つのエピソードにまとめたお話で、とてもわかりやすく伊澤修二の人柄や歩み、努力とその足跡について理解できた講座でした。

特に、「文献をもとに石けんを作る」「西洋太鼓(太鼓は現存)の奏法を身につける」「御門警衛の傍ら英書を読む」「中浜万次郎から英会話を学ぶ」といったエピソードは、たいへん楽しい話題であり、勉強熱心で向学心旺盛の伊澤修二の青年期の様子がたいへんよくわかりました。また、今の教育の基となる「教授真法」を著し、「知育・体育・心の教育」のバランス良い教育を目指したことなど、とても興味深い話がいっぱいありました。講師塚田先生の長年にわたる「伊澤修二」によせる情熱と、資料を発掘し調査研究を続け、努力されている姿勢が伝わってくる講座でした。

学生からは、「東京音楽学校の初代校長だったということが印象に残っているだけでしたが、今日の講演で若い時から向上心のある凄い人だと感じました。万次郎から英語を教わった時のエピソードはとても楽しかった。」「高遠町は古くから多くの人材を輩出していると聞いていたが、伊澤修二は学力のみならず、天才的な学びにより、英語・芸術・教育方法と幅広く、日本の教育の礎を成した。幕末から明治の偉人はすごい。」「伊澤修二は幼少の頃から学問に励み、愛知師範学校長をはじめ多くの役職に就き活躍された。郷土の誇れる偉大な教育者だったと知りました。」「いろんな資料から紐解いて研究されている講師の塚田先生に感服しました。」といった感想がありました。